

四国女短大 川添 澄江

1. 布幅の起源とその推移を調べて和服構成上に於ける今後の布幅の在り方を研究する。

2. 今回はその中の我が国の尺貫法の起源と布幅の関係について考察した。

3. 布幅は織手の肩幅から発生し最初は30cm前後であった。しかし身体を掩いまとう為には広幅の要求となり世界各国は二人以上で織る広幅に始まり我国でも奈良平安時代は唐風の衣服であったので貴族の要求により広幅であった。やがて我が国独自の文化が形成され温暖多湿の風土に合うように広い袖や開いた裾を求めて衣服の型が決まり、そこから布幅が定められて現在の36cm前後の並幅が出来た。

今後民族服として礼装に、社交着に、また家庭でのくつろぎ着として和服は将来も消えないであろう。身長が伸び体位向上した現代人には40cm幅が望ましい。